

こんにちは！ 宝塚市議会議員 いう順一です。

本日、ゴールデンウィーク最終日となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

私の方は、休日は少年サッカーの試合の引率や練習で明け暮れて、かなり日焼けしてしまいました。  
また、4/30～5/2の日程で、宝塚市議会議員 26人中 16名で「三陸・被災地フロントライン研修」に行きまして。

昨年9月に宮城県の沿岸部を周りましたが、今回は岩手県沿岸部の宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市、そして沿岸被災地後方支援の遠野市と周らせて頂き、津波の破壊力の凄まじさに、改めて言葉を失うことになりました。

東北の沿岸部の各市町は、それぞれ瓦礫が集められ、広大な更地となり、復興は、これからが本番というところでしょうが、瓦礫処理、産業基盤やインフラの破壊、人口流出、風評被害他、様々な問題を抱え、更には次の津波に備えながら、復興を果たしていこうとする道のりの険しさは、気が遠くなるような施策の積み重ねであります。

今回現地に寄せて頂いて、厳しい被災地の現状を見聞きさせて頂きましたが、産業復活、雇用の確保がとにかく重要であると感じました。

被災地外の国民が個人として応援する仕方は、現地でボランティア活動を行ったり、被災地へ義捐金を送ったりする他に、現地に赴き観光などでお金を使ったり、現地の商品を購入することでも応援できますので、長い目で支援を続けられればと思いました。

さて、4月下旬に「市議会報告第4号」<http://jito.jp/newsletter> (4/23 発行をご参照下さい) を発行させて頂き、宝塚市内のうち約5万部を各戸配布致しました。

今回の報告書は、太誠会ニュースVol. 1として、本年3月末に大量に各戸配布されたチラシの内容に、「座っているだけで年収1千万円」と私を名指しして批判していることから、非常に心外なチラシだと思っていた所、ご支援頂いている方々から、「議員報酬の供託(自主カット)もしているのだし、議案も提出しているのだから、伊藤議員が議会で何もしていないかのような事を、市民が真に受けてしまっただけは誤解を招くので、対抗措置を打つべきだ。」というご意見も多数寄せて頂きました。

しかし、同じ方向性を向く議員同士が、泥試合を行っても、返って相当額の議員報酬削減の実現が遠のくと考え、他の議員の批判などはせず、今後報酬削減の議論が議会内で深まるように、お金もかかるのですが、発行させて頂いたものです。

議員報酬削減は、議会として出来る行財政改革の施策の一丁目一番地であると考えております。

本来こんな議論はさっさと決着させ、職員給与削減や、事業仕分け実施、公平で公正な給付と賦課の仕組みを構築することによって財源を生み出し、市民サービスの充実や宝塚市が将来に渡って栄え続けることが出来るような部門へ予算が回るよう、財源を作るようにしなければならないと考えております。

これからも、議会は多数の意見を合意させなければ、政策の実現は難しいことを改めて胸に刻みつつも、妥協をするのではなく、正論が通るよう、妙な取引をすることなく合意形成が出来るように、議会に対し、或いは市当局に対し、全力でぶつかって参ります。

そして今後も、一部の利益の為だけではなく、将来を含めた市民全体の利益の為に全力を尽くす所存であります。今後ともご理解とご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

■このメールマガジンは一ヶ月に2回程度、日頃応援していただいている皆様や、名刺交換をさせていただいた方に、発行させていただいております。  
宝塚市の情報・いう順一の考え方などを盛り込んで参りたいと考えております。

是非、ご一読賜り、ご意見など頂戴できれば幸いに存じます。また、市政に対するご意見等もご遠慮なくメール等頂戴できれば幸いです。  
なお、メールマガジン停止のご希望や、ご意見や、失礼ながら名前が間違っている等々、下記までお願い申し上げます。

⇒ [tukuru@jito.jp](mailto:tukuru@jito.jp) または [jito11011@live.jp](mailto:jito11011@live.jp)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

本気の力！市政を変える！伊藤順一

〒665-0033 宝塚市伊子志 2-17-8-4F (自宅兼事務所)

TEL&FAX 0797-72-2130

ホームページ <http://jito.jp>

(3・4日に一度ブログの更新をさせて頂いております。是非こちらもご覧下さい。)

